美しい川を守り継ごう

市内14カ所にある河川の水質検査結果をお知らせします。身近な河川の状況を知り、わたしたちの手で美しい川を守り継いでいきましょう。

●串間市の河川の状況

串間市では、市内14カ所で河川の水質を測定しています。平成7年度から29年度までの主な年度のBOD（生物化学的酸素要求量：微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量とされ、この値が大きいほど水が汚れている）をグラフで紹介します。

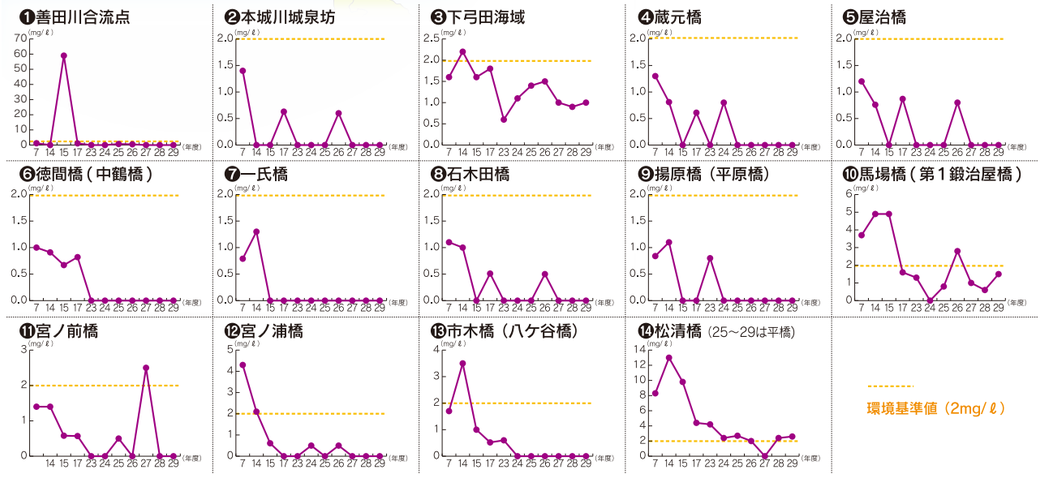
平成29年度の数値では天神川がBOD2・6㎎／ℓと、環境基準値（BOD2㎎／ℓ）を上回っていますが、多くの箇所では水質は良好を保っています。しかし、市民の皆さまの意識次第ではさらなる改善が得られるでしょう。まだ生活排水は十分に処理されているとは言えないため、各家庭から出される生活排水の処理が水質保全の要となります。

●わたしたちにできること

美しい川を守るためにわたしたちにできることは、汚れた生活排水を川に流さないことです。

くみ取り処理や単独浄化槽処理から合併浄化槽処理への切り替え、または公共下水道・農集落排水への接続によって排水の汚れを8割以上カットすることができます。ほかにも、油を流さないために皿やフライパンの油は紙でふき取って流さない、米のとぎ汁を庭の花にかけるといった工夫をすることが河川の浄化につながります。皆さまのご協力をお願いいたします。

グラフは基準値（BOD2mg/ℓ）を表示するため、掲載されるものは調査地点によってはグラフの線の推移が分かりにくいものもあります。縦軸はBOD、横軸は年度です。※ただし、❸下弓田の縦軸はCODになります。



※環境基準（県が目標と定める水質基準と水域）
●福島川上流一赤池滝より上流。BOD1mg/ℓ以下。　●福島川下流一赤池滝より下流。福島川に流入する初田川、善田川および西方川を含む。BOD2mg/ℓ以下。❶❹❻❼❿　●大平川上流一末広橋より上流。BOD1mg/ℓ以下。　●大平川下流一末広橋より福島川合流点まで。大平川下流に流入する奈留川および秋山川を含む。BOD2mg/ℓ以下。❺❽❾　●串間地先海域一下弓田海域付近。COD2mg/ℓ以下。❸　●❷⓫⓬⓭については、目安としての基準を表示。　●❸下弓田海域のみCOD（化学的酸素消費量）で表示。　●⓭H27、28年度は工事の関係上八ヶ谷橋で採水。　●⓮H24年度以前は松清橋で採水。H25年度以降は工事の関係上平橋で採水。

問／市民生活課生活環境係　☎内線253

官民一体でまちを変える！

串間の元気総力戦 くしま創生会議始動！

市民と行政が一体となって串間市が抱える課題解決に取り組むため、「くしま創生会議」を発足しました。この会議で出された市政に対する提案やアイデアなど、市民のニーズを直接市政へ反映させ、串間の活性化につなげていきます。

会議は、「くしま創生若者未来会議」「くしま創生市民会議」の2つの会議で構成されます。

●若者未来会議

市内の青年会議所や青年団協議会など各団体の青年部や女性部の代表者、企業経営者など20～40代のメンバーを中心に12名で構成。会議は、全員でのグループワーク形式で行われ、若者の視点で意見提案を行います。任期は平成32年3月31日まで。

●市民会議

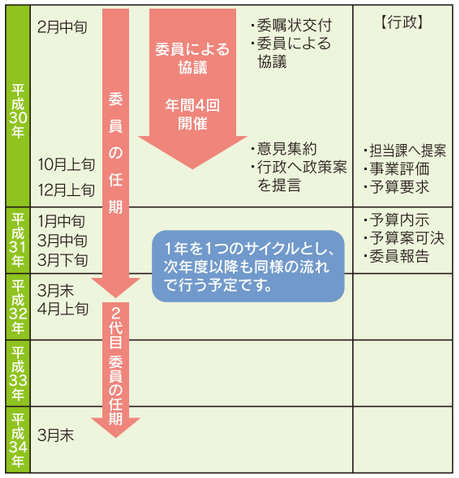
市内の団体や企業などから推薦を受けた方や公募した市民ら幅広い年齢層の約50名で構成。会議は、観光や子育てなど、テーマごとに分科会を置き、その中で議論を行い、意見を提案します。任期は平成32年3月31日まで。

●第一回会議を開催

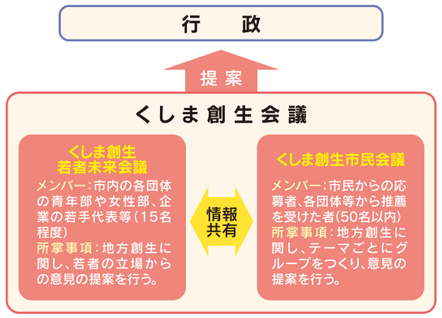
2月14日に「若者未来会議」、2月23日に「市民会議」がそれぞれ開催され、各委員に委嘱状が交付されました。

若者未来会議では、行政担当者を交え農林水産業の振興をテーマに議論。「特産品を育て上げ売り出したらどうか」「古い体質を変えていかなければ」などの意見が出されました。約50人が出席した市民会議でも、熱心な意見交換が行われました。

くしま創生会議の流れ



組織相関図



私が掲げているマニフェストの実現に向けた取り組みがスタートしました。市民の声を市政に反映できる体制づくりを進めていきますので、市民総力戦で元気なくしまを創っていきましょう!

串間市長
島田 俊光

問／総合政策課内政策立案プロジェクトチーム　☎内線333